

令和3年2月12日

豊明市長 小浮正典 様

豊明市環境審議会
会長 島田 隆道

第2次豊明市環境基本計画について（答申）

令和2年9月28日付け豊環第322号にて諮問のありましたこのことについて、答申いたします。

豊明市では、豊明市環境基本計画『21世紀のとよあけ環境羅針盤』のもと、「人と人、人と地域、人と自然の環境理想都市 豊明」の実現に向けて、市民・市民活動団体・事業者・行政が一体となった環境まちづくりを推進してきました。

この度、目標年度である2020年度を迎え、国内外における環境政策を取り巻く状況の変化に対応するため、「第2次豊明市環境基本計画」を策定するにあたり、望ましい環境像、「環境の保全と創造」「持続的発展が可能な社会の構築」「地球環境の保全」を目指すまちの実現に向けて、「誰一人取り残さない」を理念に「持続可能な開発目標（SDGs）」を活用した総合的な取り組みを以下のとおり提言します。

1 ■ 自然環境

生物多様性の恵みを持続可能な形で次の世代につなげていくため、自然環境の保全に努めるとともに、子どもたちに身近な自然と触れ合う機会や環境学習の機会などを提供すること。

2 ■ 都市環境

市街化が進む本市において、住宅地の緑化促進、公園・道路などの清掃活動が市民活動によって積極的に行われている現状を踏まえ、引き続き市民による地域景観の美化活動を推進すること。

3 ■ 生活環境

生活環境の喫緊の課題は、ごみに関する問題であることから、家庭ごみの減量や資源分別、食品ロスなどの課題に対し、市民一人ひとりが自分事として捉え、当事者としての意識を持つことができるような施策を推進すること。

4 ■ 地球環境

温室効果ガス排出量削減については、市域の自然的社会的条件に応じて総合的・計画的に進めるとともに、省エネルギーの推進や温暖化する気候への適応施策の推進について努めること。

5 ■ 協働の推進

市民・市民活動団体・事業者・行政がそれぞれの役割を認識するとともに、本市の歴史的・文化的環境を活用し、多様な連携・協働を進めること。